

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「地域と共にあなたを支えます」を基本理念として謳い、毎朝申し送り時、職員全員で復唱することで確認、共有している。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>地域の自治会に加入しており、定期総会にも出席し、年間事業計画を説明、施設の掲示板にもその都度毎の行事をお知らせするなどしている。</p>		
3		<p>事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている</p>	<p>介護劇を入れるなどの工夫を行い認知症サポーター養成講座（昨年度3回実施）を地域の公民館で開くなどの活動を行っている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族の代表、地域（議員、民生委員、自治会）の代表、行政関係者（介護保険担当者）の方に参加を頂いている。評価の結果報告や状況報告して、意見等を頂き日々のケアに生かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政主催の研修等にも参加し、担当者と適宜連絡を取り、相談・助言を頂いている。また、管理者は行政連絡員・自治会長の役を活用するなどして、密に連絡を取り合っている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設として、身体拘束排除宣言を行い、掲示しコールマット、センサー等を活用するなどして安全面に配慮、日中は玄関等鍵を掛けずに、人の出入りが自由に出来るようにしている。このように職員全員で身体拘束ゼロを目指して実践している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎朝の申し送り時、利用者権利擁護指針（コンプライアンスルール）を職員全員で黙読することにおいて虐待行為についての確認を行い、利用者が気持ち良く生活して頂けるようケア、言葉かけなどに注意している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の方に成年後見制度を利用されている方もおられ、またその他の利用者のご家族にも、管理者より、成年後見制度についての活用についてアドバイスを行うなどの支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、契約書・重要事項について説明を行い、不安なく過ごして頂けるよう努めている。退所時も段階をおって話し合いを持ち、関係機関との連携を取り、責任を持って行き先を決めるまでの援助を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が参加して頂ける行事を多く設ける事により、家族相互の交流を得る。またこの機会を通じて介護職員との対話の時間を設ける。この様なことにおいて何でも言える雰囲気作りに努めている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議、必要に応じて個別面談等を実施して、またBS法を活用するなどして、より率直な意見の集約に努めるなどの工夫を行っている。</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>女性多の職場であることを踏まえ、保育園の送り迎え等に配慮するなどしている。また資格を得た際に報奨金を出すなどして向上心を持って働けるよう行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得の研修会に参加出来るよう、勤務の調整など行い、多くの研修会により負担なく参加出来るように研修費の負担を行っている。業務に支障のない限り、希望者全員参加出来るようにしている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の研修への参加を通じて、他のグループホームとの情報・意見交換を行いサービスの向上に努めている。年2回当施設が窓口となり町内のグループホームの食事会を開いて交流を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>施設利用前に必ず面会を実施して、本人、ご家族との触れ合いを通じてより、スムーズに利用が行えるようにしている。また必要に応じて利用前に数回の面会を実施することもある。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>上記のことも踏まえ、家族のみならず、関係者（担当ケアマネージャー等）の方の面会を行い、入所時の記録として要望等を伺い記録として残すなどして関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居時の記録において、生活指導・健康管理・介護の当面の対応方法として支援を実施することとし、緊急性のサービスの必要な状況においては関係機関（他のグループホーム）と連携を行うなどして対応している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>自立支援を基本として、出来ることは職員と一緒に頑張って頂くなど、このこと等を通じて職員が知らないことを教えて下さったり、共に過ごす時間を多くする工夫にて関係作りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>年度初めに年間事業計画を送付して、可能な限り施設の行事に参加して頂く体制を整え、面会時等職員との対話を行い関係作りを得て、行事への家族の自主的援助へと結びついている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地域の自治会に加入し、また地域で行われる催しに参加するなど、例えば花見の際も近くの公園を利用するなどしている。本人の希望を聞き、出来る範囲で馴染みの場所にお連れするなどしている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>共に楽しく過ごす機会を多く設けることなど、常に利用者同士の関係には気を配っている。もめたり孤立している時は、職員が間に入って話を聞いたり、位置関係に配慮して良好な関係が保たれるようにしている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院により退所された方はお見舞いに行ったり、再入所の希望の際は配慮を行っている。亡くなられた時は、通夜・告別式に列席するなどしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>思いを伝えることが難しい方もおられるが、毎日の関わりや家族との話し合い等を通して、ポジティブにと検討を行っている。</p>		
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用前、自宅を訪問するなど、これまでの生活状況等については、本人・家族から聞き取り、担当ケアマネージャー等関係者からの情報も得ている。利用後も自宅訪問するなどしている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人のこれまでの生活スタイルを重視し、本人の意思を尊重して、一日を過ごして頂いている。手仕事記憶の活用など、出来ることに注目して支援を行っている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族・医師・スタッフとの意見を聞いてプランを作成している。無論利用者の心身に変化が生じた際は再アセスメントを行ってプランを作成している。モニタリングは一ヶ月毎に実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の状況をケア記録等に記入し、変化が生じた時はケア記録のみならず、連絡帳等にも記入するなどして、逐次利用者の変化について職員間で共有している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族が遠方にいる方、高齢の方等家族の状況に配慮し、通院の送迎・付き添い・入院中の洗濯・衣服の準備・食事介助など適宜対応している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>年間行事等に保育園児の定期的参加のみならず、地域の自治会活動に参加することで地域資源の一端を担うことで利用者の方により良く支援が出来るよう活動している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>在宅診療計画の契約を結んでおり、主治医による月二回の往診を受けている。体調不良時は、施設側で受診したり往診して頂くことでの対応を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員を配置していることで、介護職員は勤務時間のみならず、適宜看護職員へ情報を送れる体制を取っている。また、会議等を通じて看護に対する勉強会実施するなど看護・介護職員の関わりが来ている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中は、頻りに面会に伺い、医師からの病状説明にも同席させて頂き、医療相談員等病院関係者との連携を取りながら、退院後の生活の相談・指導を受けている。また退院後通院の際にも経過報告するなど関係づくりを行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族の意向を聞き、ホームでどこまで出来るかを説明するなど納得して頂いた上で、終末に対する対応方針を決めている。無論直接、現在の病状をDrより説明して頂くと共にアドバイスを参考にして関係医療機関と連携を取り支援している。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護職員を配置していることを利点として、職員会議を利用するなどして研修を行っている。また、近くの施設の研修会に参加して、救急救命法を学ぶなど社会資源の活用も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各利用者全員に非常食を準備すると共に同敷地内の御家族にも協力を頂いて非常通報先として一番に駆けつけて頂けるようしている。年一回夜間想定 of 訓練を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎朝の申し送り時、利用者権利擁護指針（コンプライアンスルール）にて確認を行い、利用者が気持ち良く生活して頂けるようケア、言葉かけなどに注意している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	具体的に例を示すなどしたりして、思いを伝えやすいような声かけを心掛けている。特に本年度のケア目標としてより一歩利用者さんと身近にを掲げ、環境づくりを目指している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特に、起床・食事・就寝などは、利用者一人一人のペースに合わせて行っている。しかしながら散歩・入浴は日課優先にて行っていることは否めない。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服選びが可能な方は、自ら行って頂いたり、職員同伴にて買い物の際選んで頂いている。美容については御家族の協力を得て行きつけにてされている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬のものを取り入れたり、嫌いな物は他の献立に変更したり、食材の大きさ、形態も各自の状況に応じて行っている。準備・後片付けなど、声かけを行い出来ることは手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は、管理栄養士が作成してものを基準として実施している。水分も一日1000ccを目安にお茶など飲んで頂いている。食事摂取量も記録している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>研修等を通じて口腔内の清潔保持は肺炎の予防になることも理解しており、毎食後口腔ケアを状況に応じて介助等にて実施している。また毎日、義歯洗浄剤にて実施している。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄表を活用するなどして、可能な限り、トイレにて排泄を行えるよう、必要に応じて複数にての介助を実施して本人の心理的不安感を与えないよう実施している。これらのことでおむつの使用量も少なくなっている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎朝食時、牛乳・ヤクルトを差し上げ、おやつにバナナを頻繁に取り入れるなど水分・繊維質及び運動が不可欠であることへの理解を職員で共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	原則1週間に3回午後入浴をして頂いている。お湯の好み、入浴時間は本人の意向を尊重しているが曜日・時間帯については一人一人の希望の実現には至っていない。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩・余暇活動・レクリエーション活動等を行うことで生活リズムを整える努力。夜間不眠時は薬に頼らず、温かい飲み物を勧めたり、お話するなどして、心が和むようにしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	疾病および薬の種類・量・処方間隔等は説明書を所持し、理解し不明な点は必ず確認するようにしている。内服薬は服用直前に状況に応じて本人に渡すなどし、服薬確認を実施している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ること（調理補助・食前後の準備片づけ・洗濯物たたみなど）をして頂いて、生活の中に張り合い、役割が持てるよう、原則一日1回は外の空気に触れることで気分転換を図っている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本年度は特にケア目標として「より一歩利用者と身近に」を掲げて、一人一人に寄り添い各担当職員が個々の希望が叶えられる様外出支援を検討実施している。原則一日1回は戸外の空気に触れるようにと併せて実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数名の利用者の方であるが、本人の希望に応じ小遣い銭を所持されておられる。特に今年度は個々の外出の際、普段所持されていない方も、お渡しして支払いをして頂く予定である。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族へ電話をかけたいあるいは様子が感じられる時はかけて差し上げている。その際、子機を使用するなど自室でゆっくりできるように等プライバシー、身体状況に配慮している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関・ホールには季節の花を飾り、落ち着いて過ごせるよう心掛けている。トイレは悪臭がないように換気に気をつけている。台所はオープンになっており、調理の際の匂いがホールに漂い、利用者の食欲を刺激するなどしている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールが広く、気の合った同士、お話しが出来たり、隅のほうに行くと、一人でゆっくりすることも出来る。各自ホール内にその人なりの居場所を持つことが出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた、馴染みの家具や仏壇を持って来て頂いて、本人が居心地良い雰囲気作りに努めている。個人用のテレビにて自室にて好みの番組を視聴される方もおられる。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールが広く出来ており、車椅子の方も自力で目的地まで行けるようになっている。自室・トイレ等解らない方には目印をつけたりするなどの工夫を行っている。洗面台も握れるようにとの配慮の物を使用している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1 ほぼ毎日のように
		2 数日に1回程度ある
		3 たまに
		4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1 大いに増えている
		2 少しずつ増えている
		3 あまり増えていない
		4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1 ほぼ全ての職員が
		2 職員の2/3くらいが
		3 職員の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての家族等が
		2 家族等の2/3くらいが
		3 家族等の1/3くらいが
		4 ほとんどいない